

新潟県中学校  
教育研究会  
授業情報誌



# class

学びを止めない

別刊



- パンデミックでも学びを止めない努力・工夫
- 学習・諸活動を頑張る生徒 ● 授業・研鑽・準備を頑張る教師

## 授業情報誌 Class 別刊の発行にあたって

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、全国一斉の休校措置という日本の史上に例を見ない対応がとられてから1年余りが経ちました。

令和2年度は全国一斉休校からのリスタートでしたが、感染の拡大による再休校措置など、授業や行事などの教育活動に大きく制限がかかり、日々変化する状況の中、感染症対策を最優先させたうえで教育活動を展開していくことは、並大抵のことではありませんでした。

新潟県中学校教育研究会では、休校措置による履修の遅れや、休校解除後の感染防止対策により、各校において教育活動の制限を余儀なくされている状況を鑑み、令和2年度の諸事業を凍結し、次年度へ先送りすることとしました。

しかし、研究・研修の歩みを止めないために、重点目標『「見方・考え方」に着目し、深い学びにいたる「学び合う授業」によって生徒に確かな資質能力を育む研究活動を進める』に沿った活動を可能な限り継続することとしました。各地区・各校において、これまでの研究の歩みを止めることなく、生徒の学びを保障するため、授業をはじめ、様々な教育活動を工夫し、実践していただいたことに敬意を表します。

また、指定研究会場校や各地区の推薦校に、各校における取組についての情報の提供をお願いしたところ、100枚を超える画像の提供をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

本リーフレットにおいて紹介された実践は一部ではありますが、本年度、各校で実践されたことは、新型コロナウイルス感染症の流行が収束した後でも、貴重な財産となるものです。次年度以降、それらの成果を共有していくことも大切であると考えております。

本紙によって、昨年度末からの困難な状況乗り越えるために、県内各地で実践されてきた努力や工夫を共有し、今後の新潟県中学校教育研究会の活動推進のエネルギーにしたいものです。

最後に、困難な状況下であっても県内の中学生のため、日々努力されてきた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。



新潟県中学校教育研究会  
会長 佐藤 幹夫

### 「授業情報誌 Class 別刊・学びを止めない」の内容

新型コロナウイルス感染症の拡大による制限がある中で、県内各地で行われた、学びや研究等の様々な活動の歩みを止めないための工夫・努力を伝えることが本紙のねらいです。

- 指定研究会場校や地区中教研事務局からの推薦を受けた学校から提供された写真と説明・コメントを掲載。
- 「授業・学校生活」「研究・研修」「授業×ICT」「総合的な学習、行事・諸活動」「設置・製作」の5つの内容で取り組みを配置。

教師も学びの歩みを止めない

# 研究・研修



指定研究（道徳）のプレ研究会として、公開授業および上越教育大学 林泰成先生の講演。席配置を非対面に設定。  
(魚沼・広神中)



SDGsの視点を取り入れたキャリア教育推進  
職員も一人の実践者として学びを深め広げる研修。  
(長岡・大島中)

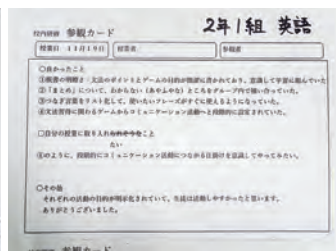
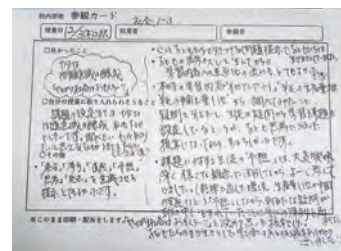


職員室についたてを設置「指導と評価の一体化」研修を実施。  
(長岡・川口中)

2年間のNIE推進指定の研究発表会を理科・社会・保体3クラスで公開。  
参加人数制限により少人数での研究会として実施。  
(南魚沼・大和中)



ICTを活用した授業改善  
(妙高・妙高高原中)



オープンドア研修：普段の授業を参観しカード記入。次年度の研修について可視化。  
(新潟・東新潟中)



休校中にZoomで健康観察とリモート授業を実施  
(長岡・関原中)



授業参考動画の制作  
YouTubeで2万再生以上。  
(新潟・白新中)



Zoomを使い阿賀野・安田中と遠隔連携授業を実施。  
iPad、ロイロノートで両校生徒の考えを共有。  
(五泉・川東中)

# 授業×ICT

「リモート」「動画」等で  
可能性が拡大



英語でロイロノートを使ったスピーチテスト  
(五泉・五泉中)



コロナに負けず、公開授業を実施。(津南・津南中)



生徒会選挙投票(柏崎・北条中)



プレ発表会：生徒が自己の成長を語り合い、認め合うことで、自らの成長を実感。協議会では具体的な生徒の姿で語り合う〔講師／新潟医療福祉大学 教授 脇野哲郎 様〕(新潟・東石山中)



研究推進委員会で次年度の準備を進める。(津南・津南中)



リモートでの小中合同学校保健委員会(柏崎・第五中)

## 新発田・進路指導部・七葉中学校 3年間を見通したキャリア教育

学校区の地域の方や、自然、文化、歴史、産業からの学びを通して、学校内外で主体となって活躍できる力を付けてほしいと考えています。

### 1年生 「地域の方との交流活動」と「地域貢献活動」

地域の方と、「七葉中学校区の地域の良さや課題は何か」について考えを共有し、「どんな地域にしていきたいか」について意見交流し考えを深めました。また、その学びを基に、地域にどのような働きかけができるか話し合いを重ね、「地域貢献活動」を実施しました。

- ①マスクの作成、配付
- ②清掃活動
- ③ポスター作成
- ④絵本・紙芝居作成、贈呈



放送による始業式。生徒は自クラスで参加。(上越・清里中)

### 2年生 「職場体験事前オリエンテーション」と「課題解決型職場体験」

20の事業所で「課題解決型職場体験学習」を行いました。事業所が抱える課題(ミッション)を事前に生徒に示し、職場体験活動を通して、課題解決に向けて主体的に学習を進めました。

「職場体験学習」の1ヶ月前には、「事前オリエンテーション」を行い、事業所の方に、課題(ミッション)を提示していただいたり、「生き方」や「お仕事」について語っていただいたりしました。



25年目の青少年演劇集団「スタートライン」感染疫対策バッチリの練習風景(上越・城北中)

### 3年生 「自己の成長を振り返り、未来の自分の姿を考える」

3年間の活動を振り返り、自己の変容と成長を意識させるため、他者との交流活動を通して、自己や他者の頑張りや良さに気付く活動を行いました。また、さらなる成長を目指した「宣言」を設定し、「未来の自分の姿」へ学びをつなげました。



Zoomを活用した全校学校保健委員会(柏崎・松浜中)

リモート・放送で分散開催

生徒総会の工夫



Zoomによる生徒総会  
(柏崎・鏡が沖中)



生徒総会は集会をせず各教室でリモート形式で実施。  
(糸魚川・青海中)



Zoomによる生徒総会  
(柏崎・第二中)



放送による生徒総会・意見質問対応の生徒会役員が廊下で待機しています。  
(上越・清里中)



放送による生徒総会・級長が窓からサインを送る困難を知恵と協力で乗り切りました。  
(妙高・新井中)



子どもの難民への「服を届ける」プロジェクト  
(長岡・大島中)



SDGsの視点で見た「世界の今」発表会  
(長岡・大島中)



Zoomによる立会演説会  
(柏崎・第一中)



Zoomによる立会演説会  
(柏崎・第三中)



いじめ見逃しゼロスクール集会に向けて小中の児童会・生徒会がweb会議を実施しました。  
(妙高・妙高中)

佐渡・金井中 メッセージパネル制作から地域学校協働活動へ

総合学習の授業開きで「自分たちはもちろん、地域も明るく元気にする方法はないか」と問いかけられた1年生は、チューリップを使ってできることを考え、花で「コロナに勝って佐渡に笑顔を」というメッセージパネルを作ることに決めました。ところが、その直後に臨時休校。チューリップ農家での刈り取り及びパネルの制作を職員で行いました。校舎に掲げたパネルは、ステイホーム中の生徒や地域住民へのエールとなりました。

休校明け、設置までの動画を見た生徒は感謝と意欲をみせました。薔薇農家からの花提供を受け、生徒は花文字パネルを作り、地域に発信しました。

その後、佐渡総合高校や金井生き生き塾からも賛同を得て花苗を提供いただき、国道沿いに花文字を植える、施設へ鉢植えを届ける活動へとつながりました。さらに、商工会より社会貢献活動の一環としてイルミネーションを設置いただき、メッセージパネルは冬の夜空に向けて照らし出されました。



# やる気と工夫あふれる 総合的な学習 行事・諸活動



校舎の大規模改修や新型コロナウイルスの大流行等で教育活動が規制され、生徒の元気な姿を保護者や地域の方々に見てもらえる機会を失いました。生徒会は『自分たちができること、自分たちだからやれること』を合い言葉に、地域を明るくする活動を企画しました。小中高合同の挨拶運動を駅で行い、利用客の方々と笑顔で交流しました。また、生徒が描いたイラストを添えたプランターに季節の花を植え、地域の公共施設8カ所に届けました。今後も中学生の目線で地域に笑顔をお届けします。  
(糸魚川・能生中)



広島からリモートで「被爆体験伝承講話」を実施。  
(柏崎・瑞穂中)



学習成果発表会を配信。  
(妙高・妙高高原中)



小学校児童を招き実施した絆集会を実施。各教室に分かれ、Zoomを活用して会場をつないで話し合いを行った。  
(上越・安塚中)



リモートでの学校保健委員会  
(柏崎・西山中)



「いじめ見逃しゼロスクール集会」を実施：例年は、中学校区4小学校が中学校の体育館で集会を行ったが、今年度は5校をリモートでつなぎ、中学生による劇の鑑賞やその後の感想発表、「板倉区いじめゼロ宣言」などを5校それぞれの会場で同時に行った。  
(上越・板倉中)



生徒・職員全員で感染予防  
(新潟・山の下中)



家庭科で全校マスク製作  
(妙高・妙高高原中)

近隣の老人施設に生徒会主催で介護用ガウン製作。  
(糸魚川・青海中)

ランチルームに職員総出で手作りの仕切りを設置。  
(新潟・山の下中)

## 生活・学びを支える 設置・製作

▶ 2年生が家庭科の授業でマスク作りを実施。  
(上越・潮陵中)



# 授業・学校生活

密閉・密集・密接を避ける  
人権や行動の意識を高く



講師を招聘し、ダンス授業。  
(妙高・妙高高原中)



感染症に関わる人権教育  
(柏崎・鏡が沖中)



一学級を二つに分けての  
授業 (柏崎・西山中)



広い教室での間隔をとった  
授業 (柏崎・第一中)



机を離しながらも話し合い  
活動を行い、深い学びを実  
現すべく頑張っている。  
(新潟・新津第一中)



分散登校の少人数で係活動  
など助け合い、英語ではコ  
ミュニケーション以外の課  
題に黙々と取り組む。  
(長岡・関原中)



廊下をはさんでオープンス  
ペースで授業実施。  
(妙高・妙高高原中)



人数の多い学級は多目的  
教室で間隔をあけて授業  
を実施。(糸魚川・青海中)



被服調理室を使って距離を  
とった授業 (柏崎・南中)



「先生、この形ならやっ  
てもいいですか？」生徒があ  
きらめず話し合い活動を  
できる活路を見いだす生徒  
たちは強い！(新潟・宮浦中)



朝活動のインタビューワ  
ークでFTスキル向上  
(見附・西中)



ゴーグルをつけた理科授  
業 (柏崎・東中)



距離をとって箏の授  
業 (柏崎・第三中)



◀ 間隔をとって合唱練習を  
実施 (柏崎・北条中)



座席を斜めにずらし、作  
品の制作。(村上・東中)

▶ 感染症対策を確実に  
行い、学年合唱にチャ  
レンジ。  
(上越・柿崎中)



◀ 間隔をとり、マウスシ  
ールドをつけて合唱  
練習。(柏崎・東中)

授業情報誌

# Class・学びを止めない

別刊 Mar.2021

表紙: 上段・村上市立東中学校 下段・佐渡市立金井中学校

発行 者 新潟県中学校教育研究会 事務局  
〒950-0088 新潟市中央区万代1-3-3  
万代シティホテルビル3階

TEL・FAX : 025-290-2251

E-mail : ken-ckk@niigata-inet.or.jp

<http://www.niigata-inet.or.jp/ken-ckk>

印 刷 有限会社 東京プリント社